

第7回 富山県成長戦略ブランディング戦略プロジェクトチーム 議事要旨

日時：令和4年12月19日（月）14:00～15:30

場所：富山県知事政策局長室、オンライン

1. 局長挨拶

- ・来年度以降の重点的な取組みとして寿司をフックとしたブランディングについてこれまでご意見をいただいていたところであるが、今後はそれを来年度のアクションプランに反映させていきたいと思う。
- ・本日は今年度のアクションプランの検証と来年度の重点施策について忌憚のないご意見をいただきたい。

2. 事務局説明

①今後のスケジュール、②令和5年度ブランディング戦略重点施策について、③令和4年度アクションプランの進捗・検証について、事務局から説明

3. 委員の主な発言

- ・R5 重点施策について幅広く手を付けるのではなく、一点集中で3つぐらいに絞るのが大事なのではないか。
- ・良いものがあれば勝手に広まっていく。良いものを作り上げるという認識が必要。
- ・県内で実績のある人たちと一緒に動くことで県が変わるということを体験できる、こんな風になるんだというのが分かる施策がもう少しあればいい。
- ・地域の人たちのリテラシーが上がって、おもてなしをするという精神をどうやって造成するかが重要。公金を投入するのであればそういう人たちを成長させる施策をちゃんと打っていく必要がある。
- ・やるのなら世界トップクラスなことをやらないと「寿司＝富山」にならない。大きなイベントをしかけることで国際的な寿司ブランドのイメージができるのではないか。
- ・「寿司と言えば富山」という方向性を決めたのでやりきる必要がある。それを世界中の人にインパクトを与えて富山はこういう場所なんだということを認知させることにフォーカスした方がいい。
- ・そのうえで、その周辺を巻き込み、育て、広げていくための施策を含めて議論した方が効果的である。
- ・富山は良い魚が獲れるように、藻場を整備したり色々な取組みをして環境を整えていることを発信するなど、ストーリー作りが大事。
- ・中長期的視点だからこそ打てる施策である「人づくり」に取り組まなければならない。